

呉工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	保健	
科目基礎情報							
科目番号		0014		科目区分		一般 / 選択必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		建築学科		対象学年		1	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		和唐正勝ほか『最新高等保健体育』（大修館書店）					
担当教員		丸山 啓史					
到達目標							
1. 現代の健康のとらえ方について理解でき、自らの健康にかかわる意志決定・行動選択ができる。 2. 生活習慣病の予防について理解できる 3. 喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響とその要因・対策について理解できる。 4. 薬物の種類とその健康への影響について理解できる。 5. エイズ・性感染症の現状の理解とその予防をすることができる。 6. 応急手当の意義やその基本、心肺蘇生法の理論を理解し、実践することができる。 7. 思春期における性意識を理解し、適切な性行動を選択することができる。 8. 妊娠・出産のメカニズムについて理解できる。 9. 避妊法と人工妊娠絶について理解できる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		現代の健康のとらえ方について理解でき、自らの健康にかかわる意志決定・行動選択が適切にできる		現代の健康のとらえ方について理解でき、自らの健康にかかわる意志決定・行動選択ができる		現代の健康のとらえ方について理解でき、自らの健康にかかわる意志決定・行動選択ができない	
評価項目2		生活習慣病の予防について適切に理解できる		生活習慣病の予防について理解できる		生活習慣病の予防について理解できない	
評価項目3		喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響とその要因・対策について適切に理解できる		喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響とその要因・対策について理解できる		喫煙・飲酒が健康に及ぼす影響とその要因・対策について理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。					
授業の進め方・方法		講義を基本とする					
注意点		現在及び将来の生活を健康で安全に暮らしていくための大切な授業です。質問がある場合には、放課後やオフィスアワーを利用して積極的に質問に来てください。予習としては、事前に教科書に目を通し、疑問点を明確にしておくことです。授業では、講義内容や板書の内容を理解し、理解できない点は随時質問してください。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション				
		2週	現代社会と健康		健康の考え方と成り立ち		
		3週	現代社会と健康		私たちの健康のすがた		
		4週	現代社会と健康		健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり		
		5週	現代社会と健康		生活習慣病とその予防		
		6週	現代社会と健康		喫煙と健康		
		7週	現代社会と健康		飲酒と健康		
		8週	現代社会と健康		薬物乱用と健康		
	2ndQ	9週	現代社会と健康		感染症とその予防、性感染症・エイズ予防		
		10週	現代社会と健康		応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法の原理とおこない方		
		11週	生涯を通じる健康		思春期と健康		
		12週	生涯を通じる健康		性への関心・欲求と性行動		
		13週	生涯を通じる健康		妊娠・出産と健康		
		14週	生涯を通じる健康		避妊法と人工妊娠中絶		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解答説明				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	日常生活の時間管理、健康管理、金銭管理などができる。常に良い状態を維持するための努力を怠らない。		2	前2
				ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに、目標達成のために対処することができる。		2	前4
				学生であっても社会全体を構成している一員としての意識を持って、行動することができる。		2	前4
				市民として社会の一員であることを理解し、社会に大きなマイナス影響を及ぼす行為を戒める。人間性・教養、モラルなど、社会的・地球的観点から物事を考えることができる。		2	前4,前10,前11
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計

総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0